



# 稲作情報



JA秋田ふるさと 営農経済部 米穀課 ☎ 23-6556

各営農センター

金沢 ☎ 37-2124 大雄 ☎ 52-3665 横手 ☎ 32-8220 増田 ☎ 45-2035  
平鹿 ☎ 24-3110 十文字 ☎ 44-3101 大森 ☎ 26-4155 雄物川 ☎ 22-2266

秋田県農業共済組合横手市支所 ☎ 32-4150

農産課(農作・畑作・損防) ☎ 32-4404 家畜果樹園芸課(家畜・果樹・園芸) ☎ 32-4407  
建物農機具課(建物・農機具) ☎ 32-4119 収入保険課(収入保険) ☎ 32-4229

秋田県平鹿地域振興局 農林部 農業振興普及課 ☎ 32-1805

横手市農林部 農業振興課 ☎ 32-2112・32-2113



## 生育は平年以上を確保 幼穂形成期以降の適切な水管理と栄養診断の実施を!!

本年は5月下旬の低温で、田植え後の初期生育が遅れた稲が多いです。あきたこまちは6月に入ってからの気温・日照共に平年を上回ったため、草丈・㎡あたりの茎数・葉数・葉色すべてにおいて平年並みに追いつきました。萌えみのりは、ガスわきの影響もあり分けつの発生が緩慢です。田植えの早晚・植込株数・側条有無・地域によって圃場間格差がありますので、各圃場状況を確認し生育状況に応じた水管理・肥培管理を実施してください。

◆6月25日現在生育状況 (平鹿地域振興局農業振興普及課調査6月25日現在)

		草丈 (cm)	㎡茎数 (本)	葉数 (葉)	葉色
あきたこまち 平鹿地域振興局 農業振興普及課調査	本年	36.6	356	8.7	45.0
	平年比	106%	108%	+0.5	104%
	前年比	100%	89%	0	102%
萌えみのり JA秋田ふるさと調査	本年	36.3	247.5	8.3	43.6
	平年比	102%	72%	-0.2	101%

## 1. 今後の管理

### ◆間断灌水から中干し終了へ

幼穂の発育と一穂粒数の確保には、幼穂形成期以降圃場の水分が適切に維持されていることが重要です。中干しは、幼穂形成期前(あきたこまちで7月15日頃)までには終了するようにしてください。中干しした圃場の土表面は、酸化状態のため急に湛水すると根腐れの原因になりますので、間断灌水(湛水と落水を繰り返す水管理)とし、徐々に湛水管理に切り替えましょう。

### おすすめ!

中干し終了～湛水管理に切り替える際、液体ケイ酸加里肥料の流し込みをおすすめします。幼穂形成期のケイ酸施用は、高温障害(乳白・胴割れ)防止や稲体強化による倒伏軽減・病害抵抗効果、根の伸長促進による登熟促進(タンパク抑制)、割れ粒防止によるカメムシの吸汁軽減効果が期待できます。

資材名 KSK28(ケイ酸28.0%、カリウム17.0%)

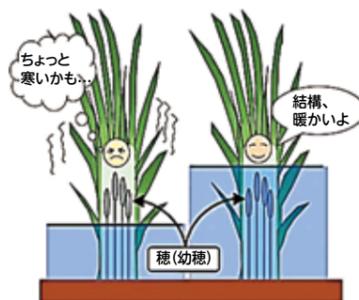
1.4kg入/10a用、4.2kg入/30a用、14kg入/1ha用

### ◆幼穂形成期以降の水管理

幼穂形成期から穂ばらみ期にかけては低温に最も弱い時期となり、日平均気温20℃以下(最低気温17℃以下)の日が続き日照時間が少ない場合、障害不稔や白ふが発生することもあります。低温時には障害不稔の被害軽減のため、幼穂形成期から穂ばらみ期にかけて10cm以上の深水とし、幼穂を保護するようにしてください。

また、近年出穂前後の高温で、収量や品質低下(乳白粒等の発生)の原因になっています。出穂後30℃以上の高温が続く場合はかけ流し灌水や水の入れ替えを行い、根の機能減退を防ぐようにしましょう。

水の需要期ですので、地域の農業用水の状況を考慮し、大切に使いましょう。



### ◆カドミウム吸収抑制

出穂前後3週間(7月15日～8月25日頃)は水田に常時水を張り、田面を空気に触れさせないことにより玄米へのカドミウム吸収を抑制します。…カドミウムを吸収させない湛水管理の実施

## 2. 病害虫防除

### 【いもち病対策】

6月25日に感染好適日になりました。圃場をよく観察し、本田での発病状況を確認してください。病斑が見られたらビーム剤の散布、予防する場合は、コラトップ剤やサンブラス剤を散布しましょう。特に『萌えみのり』や葉色濃く生育量多い圃場は、予防に努めてください。

薬剤名	希釈倍数	使用量	成分数	散布時期
コラトップ粒剤12		1kg/10a	1	湛水散布 出穂30～5日前まで
サンブラス粒剤		3～4kg/10a	1	湛水散布 出穂5日前まで
ビーム粉剤DL		3～4kg/10a	1	散布 葉いもち発生時
ビームエイトゾル	1000倍	60～150ℓ/10a	1	

### 【紋枯病対策】

紋枯病は、前年多発した圃場では発生が懸念されます。出穂前防除を実施しましょう。

薬剤名	使用量	成分数	散布時期
モンガリット粒剤	3～4kg/10a	1	湛水散布 予防・出穂20～10日前
モンセレン粉剤DL	3～4kg/10a	1	散布 発生時・出穂直前～穂揃期

モンガリット粒剤は、稲こうじ病にも効果あり。

## 3. 雑草対策

本年は雑草の発生が遅く、一発除草剤が効いている圃場が多いですが、前年に多発した圃場では後発の雑草が多くみられます。ホタルイやノビエは斑点米カメムシの産卵・繁殖場所となりますので、中・後期除草剤により適切な雑草防除を実施しましょう。

薬剤名	薬量(10a)	希釈水量(10a)	使用時期	使用方法	成分数	適用雑草
クリンチャーEW	100ml	25～100ℓ	ノビエ6葉期まで	落水散布	1	ノビエ
トドメMF乳剤	200ml	100ℓ	ノビエ7葉期まで	湛水、又は落水散布	1	
バサグラン粒剤	3～4kg		収穫60日前まで	落水、又はごく浅水散布	1	広葉雑草
バサグラン液剤	500ml～700ml	70～100ℓ	収穫50日前まで	落水、又はごく浅水散布		
クリンチャーバスME	1000ml	70～100ℓ	ノビエ5葉期まで	落水、又はごく浅水散布	2	ノビエ・広葉雑草
トドメバスMF液剤	1000ml	70～100ℓ	ノビエ6葉期まで	落水、又はごく浅水散布	2	ノビエ・広葉雑草
ワイドパワー粒剤	3kg		ノビエ5葉期まで	落水、又はごく浅水散布	2	ノビエ・広葉雑草
ワイドアタックSC	100ml	100ℓ	ノビエ6葉期まで	落水、又はごく浅水散布	1	ノビエ・広葉雑草

※クリンチャーEWは、展着剤加用で効果大

※落水処理の場合、好天の続くときに使用すること(3日以上)

## 4. カメムシ防除（密度抑制と本田防除をセットで実施！）

### アサジカスミカメ多発!! 草刈りと本田防除必須!!

雪消えが早かったことと、6月の高温により6月下旬の農道等のカメムシ掬い取り調査で、大量のアサジカスミカメが捕獲されました。畦畔や農道・転作田のイネ科雑草地でアサジカスミカメが更に産卵・ふ化・増殖し、本田への侵入被害が懸念されますので、**出穂（10日）前までに地域一斉防除・草刈りにより密度を下げる**ことと、**確実に本田防除を実施**することが必須です。

時期	7月（密度抑制期）			8月（本田防除期）		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
本田	残草処理対策を実施			出穂	1回目防除 出穂期10日後頃	2回目防除 出穂期24日後頃
農道・畦畔 水路法面	出穂10日前までイネ科雑草が穂をつける前に実施する。 ← 草刈り →			草刈禁止	カメムシ防除後 (1週間以内) ← 草刈り →	草刈禁止
休耕田等	← 薬剤防除・草刈り →			←----- 草刈り禁止 ----->		

- \* 7月の畦畔の草刈りは、本田内のヒエ・ホタルイが残草していないことが前提です。
- \* 本田内の除草が適切に行われていない場合、畦畔除草により本田内にカメムシを追い込むこととなりカメムシの繁殖を助長してしまいます。

## 栄養診断により、健全な稲体に仕上げましょう!! (この診断による肥培管理が収量や品質に大きく影響します。)

## 5. 生育・栄養診断の実施

6月の水温上昇によりガスわきによる下葉の黄化・斑点、葉色の低下が見られました。中干しによる酸素供給で、葉色が上昇しますので幼穂形成期に生育・栄養診断を実施し、出穂期まで健全な稲体に仕上げましょう。

◆幼穂長の見極めから幼穂形成期（11.5葉期）を的確に把握する。

この時期の生育は、

■茎数の減少 ■葉色の低下 ■倒伏の診断

■一穂モミ数の減少 ■出穂期以降の登熟度向上

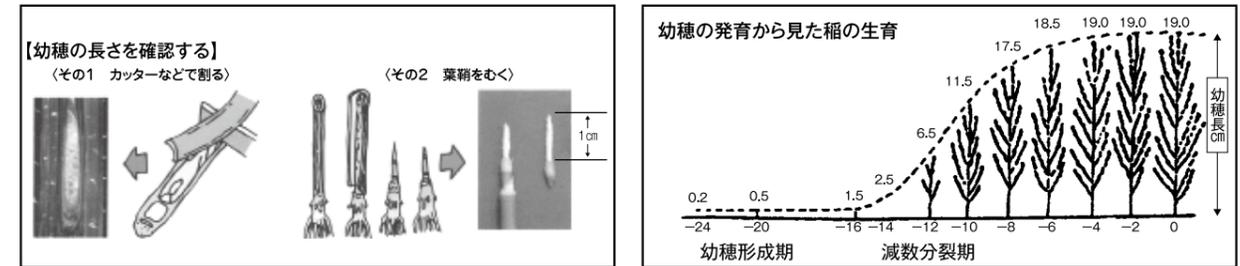
など、多くの要素を考慮しなければならず、生育期間中で最も重要な時期といえます。



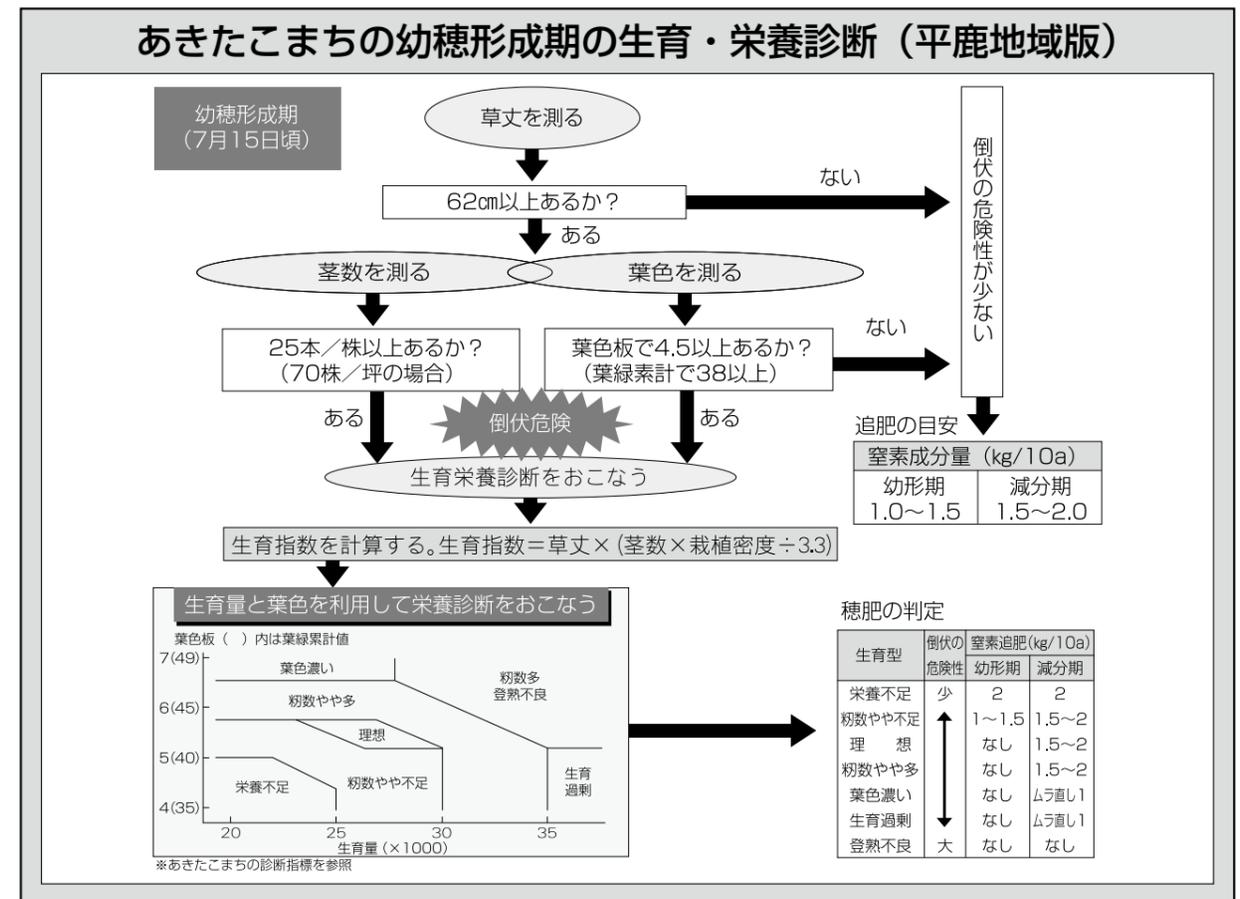
### 1) 幼穂長を調べましょう!

平均的な株の一番背の高い茎を、根をつけたまま抜き取ります。葉鞘をていねいにむいて、幼穂の発育状況を見ます。株を束ねて一番葉の長い茎を引き抜き、茎の中央部をカッターで真っ二つに切ると簡単に見ることができます。

◎幼穂長が1～2mmになった時点で「幼穂形成期」となり、出穂25日前頃と出穂時期を予測することができます。幼穂長によって出穂日（期）を予測し、適期追肥やカメムシ対策（適期草刈り・防除）を計画的に進めていくことが重要となります。



### 2) 幼穂形成期を確認したら、「栄養診断」を実施しましょう!



ふるさと稲作“ほっとライン”

## LINE 登録者募集!!

☆気象変動に対応した、迅速でより身近な稲作情報をお伝えするべく携帯アプリ「LINE」を始めました。生産者の皆様の登録を是非お願いします。

JA秋田ふるさと  
LINE QRコード

